

3. コンクール受賞作品一覧

小学生の部

- 最優秀賞
 - ・言葉「しっばいはせいこうのもと」
題名「お父さんのしっばい」・・・・・・・・・・ 3
- 優秀賞
 - ・言葉「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」
題名「およげなかったおとうさん」・・・・・・・・・・ 4
 - ・言葉「けいぞくは力なり」
題名「続ける事のたいせつさ」・・・・・・・・・・ 5
 - ・言葉「学問に王道なし」
題名「わたしのおじいちゃん」・・・・・・・・・・ 6
 - ・言葉「和顔愛語」
題名「和顔愛語でみんななかよし！」・・・・・・・・・・ 7

(学校・学年は令和2年度時点のものです。)

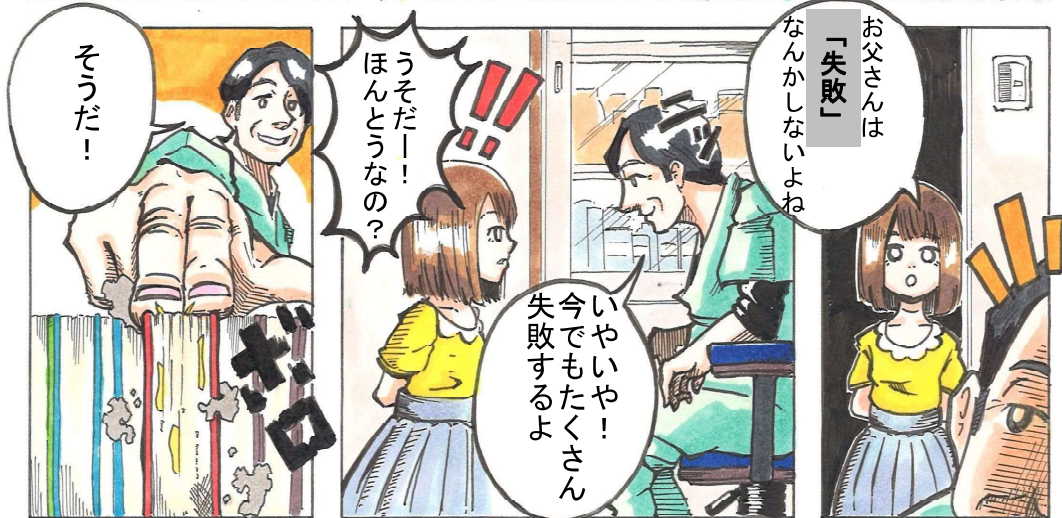
言葉「しっばいはせいこうのもと」
 題名「お父さんのしっばい」

宇都宮市立昭和小学校 1年生
 殿川 千代さん



わたしのお父さんは「歯」をつくるお仕事をしています

このお仕事をはじめて21年目になるそうです



そうだ!

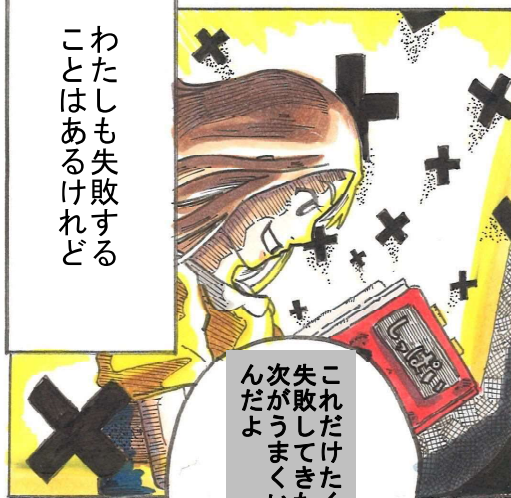
うそだー!ほんとうなの?

お父さんは「失敗」なんかしないよね

いやいや!今でもたくさん失敗するよ

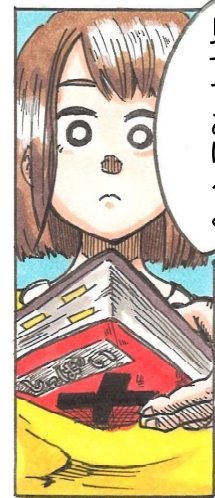


その失敗はけっして無駄にはならないんだと教えてもらいました



わたしも失敗することはあるけれど

これだけたくさん失敗してきたから次がうまくいくんだよ



このノートをよませてあげるよ



わたしのお父さんは、「は」をつくるおしごとをしています。
このおしごとをはじめて21年目になるそうです。
それだけながくやっているなら、もうしっぱいなんかしないんだろうと、
おもっていました。

でもお父さんにきいてみたらいまでもたくさんしっぱいをするそうです。
わたしはおどろいてしんじられなかったけれど、
しっぱいしたことをきろくしてあるノートを見せてもらいました。
お父さんがそのノートを見せながら、

「これだけたくさんしっぱいしてきたから、つぎがうまくいくんだよ。」
とおしえてくれました。

わたしもしっぱいすることもあるけれど、
そのしっぱいはけっしてむだにはならないんだとおしえてもらいました。



言葉「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」
題名「およげなかったおとうさん」

宇都宮市立石井小学校2年生
杉本 創一朗さん





ぼくのおとうさんは、こどもの時、
家のにわにあったいけにおぼれたことがきっかけで、
水がこわくなって、およげませんでした。
学校のプールのじゅぎょうもいやで、
学校を休んでおかあさんにおこられていたそうです。

でも、おとなになってから、
じぶんの子どもがおぼれてたすけられないのはいやだ
とれんしゅうをはじめました。

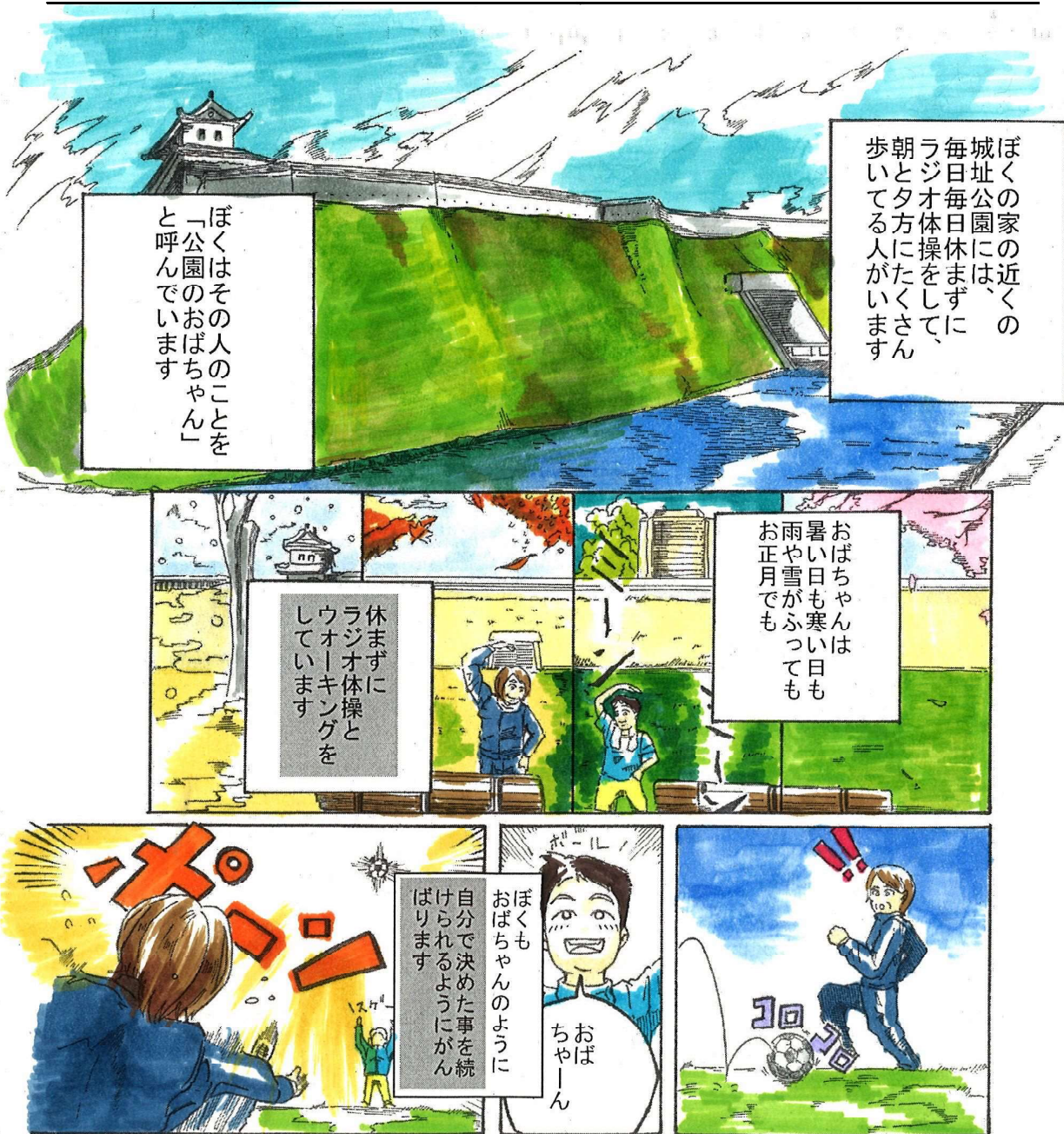
まい日、しごとのあとプールにかよって、今ではバタフライもおよげます。
そんなおとうさんがカッコいいと思います。

にが手なことも、まい日れんしゅうすればできるようになるのだ
とまなびました。



言葉「けいぞくはかなり」
 題名「続ける事のたいせつさ」

宇都宮市立中央小学校3年生
 熊澤 昊さん





ぼくの家近くのじょうし公園には、毎日毎日休まずにラジオ体そうをして、朝と夕方にたくさん歩いている人がいます。

ぼくは、「公園のおばちゃん」とよんでいます。

おばちゃんは**暑い日もさむい日も雨がふっても雪がふっても、お正月でも休まずにラジオ体そうとウォーキングをしています。**

だからおばちゃんはとても元気です。

ぼくとサッカーをしてくれるくらい元気です。

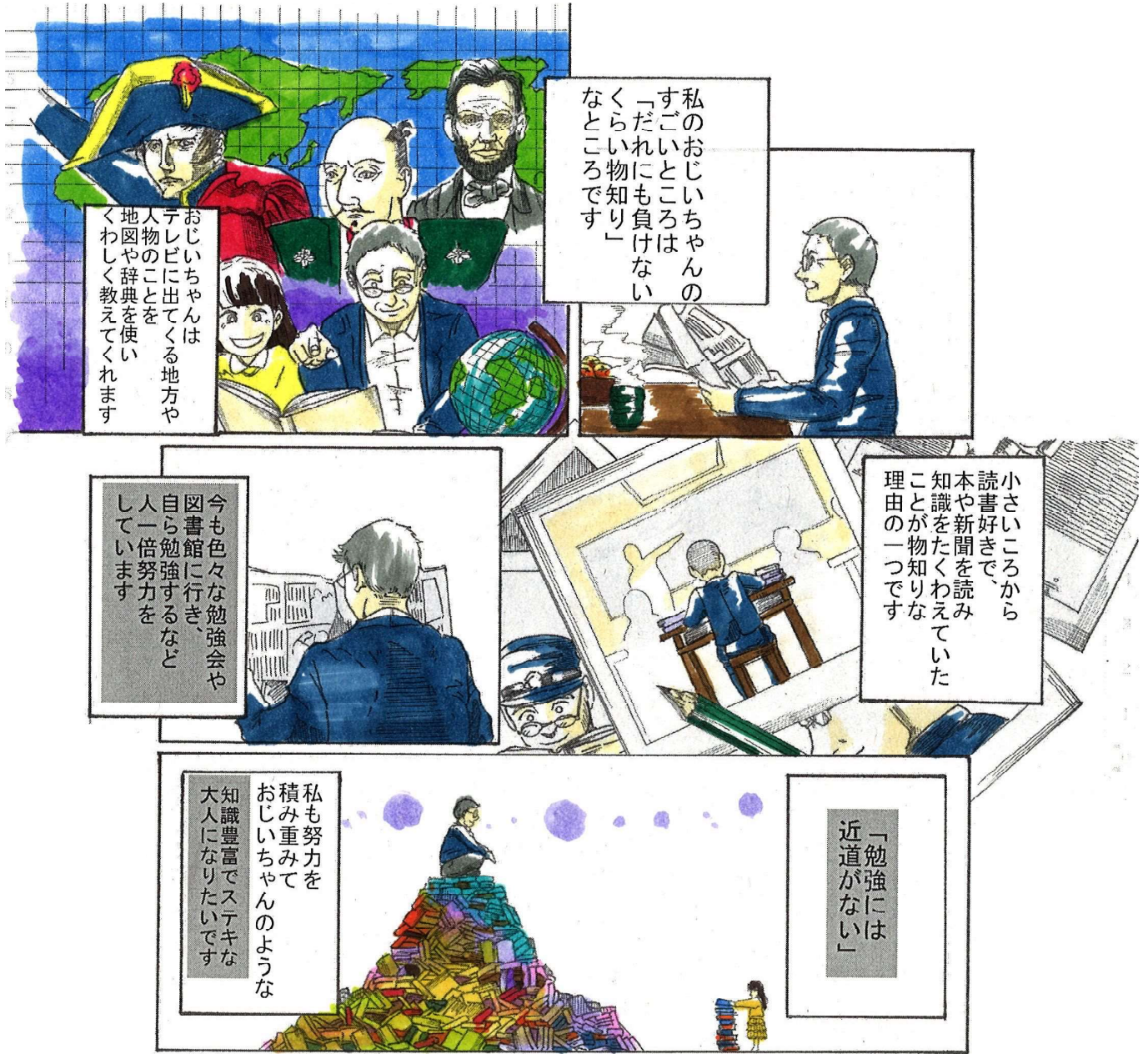
ぼくも、夏休みや冬休みにはラジオ体そうに行きますが、毎日は続けられません。

ぼくも、おばちゃんのように、自分できめた事を続けられるようにがんばります。



言葉「学問に王道なし」
 題名「わたしのおじいちゃん」

宇都宮市立中央小学校4年生
 岸 歩葉さん





わたしのおじいちゃんのすごいところは、
「だれにも負けないくらい物知り」なところですよ。

おじいちゃんといっしょにテレビを観ているとそこで紹介されている地方や人物のことを地図や辞典を使ってくわしく教えてくれます。
だからわたしは世界地図などにきょう味を持って、社会が得意になりました。

そんなおじいちゃんが物知りの理由はたくさんあります。
例えば、小さいころから読書好きで本や新聞を読んで、
知しきをたくわえていたことです。

**今も色々な勉強会や図書館に自分から行って勉強するなど、
人一倍努力をしています。**

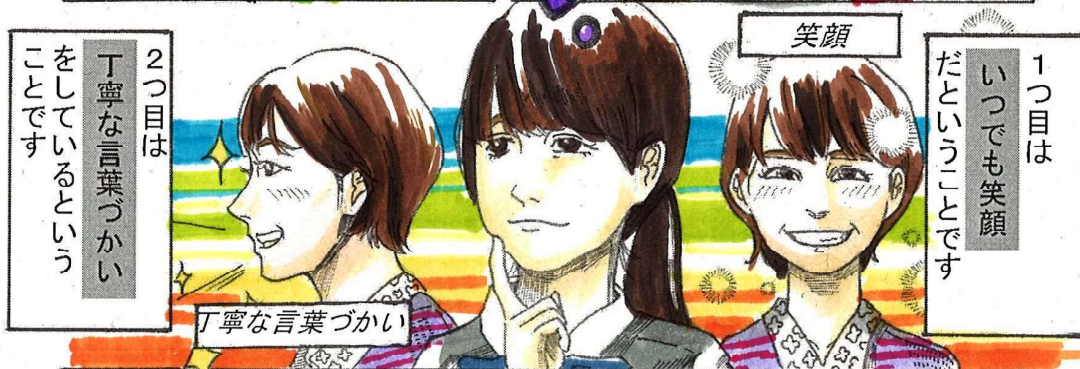
とくに専門の学校には行っていないそうです。
わたしはそんなおじいちゃんをそんけいしています。

**“勉強には近道がない”からわたしも努力をつみ重ねて
おじいちゃんのような知しきほうふでステキな大人になりたいです。**



言葉「和顔愛語」
 題名「和顔愛語でみんななかよし！」

宇都宮市立岡本小学校6年生
 夏目 茉白さん





私の母はいつでも、どんな人とでも仲良くなることができます。

例えば、何かのイベントのときに、列に並んでいた見知らぬ女性と
いつのまにか楽しく話していました。

私はその早さにおどろきました。

また、母は小さな子とも仲良くなれます。

私はなぜ、そのように誰とでも仲良くなれるのかふり返ってみました。
その結果2つのことを見つけました。

1つ目は**いつでも笑顔だ**ということです。

たしかに、相手が初対面でも自分が笑顔であればいい印象をもってもらえます。

2つ目は、**ていねいな言葉づかいをしている**ということです。

ていねいな言葉を使うことはふつうですが、
明るい言葉をたくさん使って話すことでより話がはずんだり、
相手がいい気持ちになったりします。

私もフレンドリーな母のような人になるために
この2つのことを意識したいと思います。

そして、「和顔愛語」という言葉のような人になって、
まわりの人にも広めていきたいです。

